

令和2年度第1回 長野市総合計画審議会 会議録

日 時：令和2年7月22日（水） 午後3時から午後4時20分まで

場 所：庁議室（第一庁舎5階）

出席者：委 員/ 荒井委員、池尻委員、伊藤委員、市村委員、金物委員、熊井委員、小木曾委員、清水委員、轟委員、廣田委員、藤原委員、牧野委員、宮沢委員、横地委員

長野市/ ※部局長は自席からのリモート出席

倉島総務部長、酒井企画政策部長、清水財政部長、日台地域・市民生活部長、中澤保健福祉部長、小林保健所長、広田こども未来部長、宮尾環境部長、丸山商工観光部長、小林文化スポーツ振興部長（代理：鈴木スポーツ課長）、西澤農林部長、小林建設部長、岩片都市整備部長、倉島会計局長、樋口教育次長（行政）、永井教育次長（教育）、望月上下水道局長、佐伯消防局長、鎌田危機管理防災監、伊熊公有財産活用局長、下平復興局長

事務局/（企画課）青木課長、瀧澤主幹、羽田課長補佐、東福寺係長、室田主査、平井主査、板倉主査、横田主事、小林主事、名取主事（人口増推進課）石井次長、飽田課長補佐、宮下課長補佐、飛澤主査

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより長野市総合計画審議会を開会いたします。私、企画課長補佐の羽田と申します。議事の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

なお、本来ですと関係部局長がこちらの会場に出席させていただくところではございますが、新型コロナウイルス感染症予防のため、自席からのリモート出席とさせていただきます。正面のモニターに発言時には表示されますので、よろしくお願いいたします。

本日の資料のご確認をお願いいたします。事前にお送りいたしました、次第と、審議会委員名簿、長野市部局長名簿、長野市総合計画審議会資料集、資料1-1と1-2、それから、資料2-1から2-3です。加えまして、本日お配りした「長野市未来政策アイデアコンペティション 2020」の資料と座席表になります。不足等ございますでしょうか。

また、資料を綴るためのファイルを1冊ずつお配りしておりますので、今後ご活用いただければと思います。

なお、後程SDGsについてご説明をさせていただきますが、4月にお送りしました

「第五次長野市総合計画実施計画」をご覧くださいながら行います。本日、お持ちでない方がいらっしゃいましたら、予備がございます。よろしいでしょうか。

令和2年4月1日付けの人事異動により、部局長が一部交代しておりますが、お手元にお配りしました名簿により、紹介に代えさせていただきます。

また、併せて事務局職員の一部も変わっておりますので、職員の自己紹介をさせていただきます。酒井部長からお願いします。

—事務局職員自己紹介—

(事務局)

それでは金物会長からごあいさつをお願いします。

(金物会長)

皆様こんにちは。会長の金物です。

梅雨の間の晴れ間がありましたが、皆さんマスクをして参加していただき、ありがとうございます。コロナがどうなるかですが、G o T oで旅行を勧めるということで、心配という意見が多いです。コロナの後どうなるのということで、コロナ担当は前の様には絶対ならないのではないかとという意見もありますが、総合計画にも大きな影響があるのではないかと、皆さん思われていると思います。今年度から来年度に掛けて、第五次長野市総合計画後期基本計画の策定期間になります。

本日は、「第五次長野市総合計画前期基本計画」の進捗状況及び「第五次長野市総合計画後期基本計画の策定方針（案）」について議事を予定しております。「第五次長野市総合計画前期基本計画」は計画期間の4年目となります。計画の着実な推進に向けて、忌憚のないご意見等を頂戴できればと思っております。

また、「第五次長野市総合計画後期基本計画」については、令和4年度から5年間の計画期間となり、今年度10月から策定作業が始まる予定です。大変お忙しい皆様ですが、どうぞよろしくをお願いします。

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、議事に移らせていただきますが、議長につきましては、金物会長にお願いします。また、時間ですが事務局としましては、午後5時までにはと思っております。よろしく願いいたします。

また、議事において、委員の皆様が発言される場合は、お手数ですが、挙手していただき、議長がお名前をお呼びし指名されましたら、各自設置されているマイクのボタンを押していただき、お座りになったまま発言することをお願いしたいと思います。それ

では会長お願いします。

(金物会長)

それでは、議事に入ります。

今、説明がありましたが、私は名前を呼ばないかもしれませんが、部長達がどなたが発言しているかわからないので「何々です」と言っただけであれば、手間も省けますので、よろしくお願いします。議事の(1)「第五次長野市総合計画前基本計画」の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

なお、昨年度は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況についても併せて説明がありましたが、そちらについては、次回の審議会で説明していただきます。

－事務局説明－

青木課長より、資料1-1、1-2により、総合計画の進捗状況について説明。

(金物会長)

第五次総合計画は、昨年度3年目でありましたが、進捗状況についてご説明がありました。ご質問他何かあれば。

説明がありましたので、見方わかりますよね。資料1-1についてはたくさんある中で、目標値を下回ったものを二つ説明していただきました。

(清水委員)

施策の2-1-2になるのですが、今から比べて12%の数値を上げなくてはいけないというのは、結構な数値であると思います。それに対して実施していく行動として、保育の質の向上等を挙げられましたが、今までもやっていることと思われます。かなりの上昇を応援する企画、特別な今までと違うものがあれば教えてもらいたいの一点です。もう一点は、5-1-2の「子どもに応じた支援の充実」ですが、先程、学校への登校のみを目標にしないで、評価方法を変えなければいけないというお話があったかと思います。プラスしまして私共は高校のサポート校をしている関係で、高校の不登校の問題も沢山ありますので、それも何か評価の指標にいられていただくとうれいなあと思います。

ご提案と問いかけの2点でございます。よろしくお願いいたします。

(金物会長)

一つは提案で、一つは質問ですね。

(青木課長)

2-1-2の子どもの成長を育む環境の充実ですが、資料の1-2の12ページをご覧

いただきたいと思います。一番下が課題と今後の展開について、担当課でまとめたものでございます。その中で、これまで以上に研修会等の実施により保育士の確保を図るですとか、保育所の指針に沿って進んでいるか、カリキュラム、マネジメントを徹底し、常に教育・保育の質の向上を図っていく。それから子供たちに読み聞かせを實踐できるように保護者に効果の説明をしながら積極的に啓発を行っていくことを、担当課では進めまして、92%に持って行きたいということです。

5-1-2の高校の不登校については、県の教育委員会の担当になりますので、もしこちらの方で指標として定められるものがあれば、後期基本計画の中で、反映させられればと思います。よろしく願いいたします。

(清水委員)

ありがとうございます。もう1点聞いても良いですか。先程の2-1-2ですが、今、行政の方で行わなければいけないことが、いくつか挙がっていると思いますが、今、育児のお母さん方を支えようという団体が沢山出てきているので、是非ご協力いただければうれしいのが1点。

少し前に県下の校長会をめぐる機会がございまして、高校の校長先生も同じように不登校の危機感を感じているので、是非とも県とも協力してもらえとうれしいなあと思います。

(金物会長)

それでは、議事(2)の「第五次長野市総合計画後期基本計画の策定方針(案)」につきまして、引き続き事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

青木課長より、資料2-1、2-2により、総合計画の進捗状況について説明。

(金物会長)

後期基本計画の策定方針のスケジュールや分科会について、特別意見が無ければ次に進めさせていただきます。説明いただいたとおり、色々意見が出るとは思いますが、進めて行くということで、よろしく願いします。

次に、策定方針の説明にありました「長期戦略2040」と「SDGs」について、引き続き事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

羽田課長補佐より、資料2-3と第五次長野市総合計画実施計画により、長野市総合戦略2040とSDGsについてそれぞれ説明。

(金物会長)

長野市総合戦略 2040 と SDG s について、質問があったらお願いします。

(清水委員)

SDG s について教えてください。京都市はWHOにロゴマークの申請・許可を得て、古い木や竹を材木にして、バッチを作るとか産業に結び付けており、他の自治体でもあると聞いていますが、長野市はロゴマークの使用についてWHOに申請や許可の申出をしているのか。もし無いとしたら予定があるのかお聞きする。

(羽田課長補佐)

市の実施計画等の記載については、国連のホームページにデータが使ってくださいと公開されているので、使用しております。また、ロゴマーク等の新しい製品開発に活用する際には、関係する所に相談して事業が進められればと思いますし、製造する段階で企業と検討していくこととなると思います。

(清水委員)

実際、やりたいと思っている企業や学校があるので、その際には教えてください。

(金物会長)

どうでも良いような質問ですが、長期戦略 2040 の所でZ世代と出てきましたが、普通に使っている言葉ですか。私は初めて聞くものですから。何かなあとお思いまして。

(羽田課長補佐)

Z世代については、アメリカの若い世代の分類の仕方みたいです。あとミレニアル世代であるとか、ちょっと前の世代はそういう言い方をするみたいです。日本でもゆとり世代とかバブル世代とか色々な世代の言い方があると思いますが、この場所で使っている意味としては、とにかく 2040 年に社会の中心になる若い世代ということで、Z世代という言葉を使いまして、少しでもイメージしやすくなるように使わせていただいています。

(轟委員)

SDG s に関連して今回の説明では、総合計画、総合戦略のそれぞれの項目が、SDG s のどの項目に関連しているのか、カテゴライズしたイメージだと思いますが、今後SDG s をどこまで活用されていくのか。これを評価にまで結び付けるとなると、関連を見ても様々な多くの事業が絡み合っている状況で、これを一概に評価するのは難しいと思うのですが、今後どのようにSDG s の考え方を活用して、どのようにアウトプッ

トして持つて行くのか、何かイメージがあれば教えていただきたい。

(青木課長)

SDGsについては、先程ご説明した実施計画と紐づけするのを皮切りに、内部の評価である業績評価にSDGsの視点を取り入れまして、SDGsの視点でまとめた同じ方向を向いている事業を、まとめることができないかですとか、そういった形でSDGsを内部で活用しております。今後、総合計画に限らず、事業を構築するに当たりSDGsの視点を持って連携しなければならない、単独の部局、単独の課ではできないものが多いので、連携しなければならない所と連携しながら、SDGsのゴールに向かって、取り組んでいきます。

ただ、SDGsのインディケータの所で指標を掲げておりますが、指標を長野市が取り組んだことにより指標が達成できるかと言われると、なかなか難しいところもあると思いますけれど、今のところSDGsの指標については、定めておりませんが、また、後期基本計画の中でSDGsに絡む指標を定めた方が良いということがあれば、検討していきます。

(轟委員)

もう1点、長期戦略2040で最後の課題、進め方のところで総合計画との整合性が明記されてはいるのですが、色々拝見させていただいて、気になった所として、ブランディング分野のビジョン、キャッチフレーズ的なものがボンと出てきていて、総合戦略のキャッチフレーズで「共に輝く。まち・ひと・未来」がありますが、更に総合計画では「幸せ実感都市「ながの」オールながので未来を創造しよう」とブランディングのコンセプトが乱立して、市民もわからないし、外から見ても一体長野市は何を目指しているのか良く見えない、となりかねない。何か統一のコンセプトをしっかりと考えて作り上げていく方が良いと思いました。

(金物会長)

よろしいですね。ご意見として。

(青木課長)

はい。わかりました。

(藤原委員)

ビジョンの話で、長期戦略2040と後期基本計画がいまいちどう紐付いていくのか、わかりきれておらず、そこをもう一度整理するというか、これも一つの計画ではありますし、且つ今、話を伺いながら感じたのが、どの位の重要度、優先順位でどっちが上位

なかわからない。

あと、長期戦略 2040 に K P I 入れていくと、外部要因が多くなっていく、様々な連携機関も多くなっていく。後期基本計画を考えていった時に、どういう存在であるのか、もう一度伺いたいのが 1 点目です。

2 点目は、長期戦略 2040 には体制図で色々なプレイヤーが出てくると思いますが、戦略マネージャーは任期付きであり外部との関係もあるが、どうやって 2040 年までに実現していくのか。それともこれは、あくまでも計画でありビジョンであり、バックキャスト的に将来こうなったら良いよね、という未来を作ったものであるのか伺いたい。

(青木課長)

1 点目の長期戦略 2040 と総合計画との整合についてですが、長期戦略 2040 は、経済分野に重きを置きまして、経済基盤の底上げを目指したものです。そのような関係で産業分野や観光分野においての 2040 年の目標に向かって、こんなことをやっていけば良いのではないか、とプロジェクトチームでまとめたものでございます。今後、ここに掲載しているプロジェクトは個別に事業化して、起こしていく段階になります。事業を起こしていく段階で、それぞれの個別計画等が総合計画と紐付いていくと考えております。

2 点目の長期戦略 2040 の今後の推進体制ですが、現段階では庁内のワーキンググループ、プロジェクトチームと戦略マネージャーが中心となって、外部の民間の企業などへのヒアリングを現在行っているところであります。今後ステークホルダー的な方と絡んでいく中で、更に詳細な事業化を詰めていきたいと考えています。また、詰めたものを来年度予算化していくという段階になりました。また、その段階で民間の皆さんと連携するための何らかの組織が必要になれば、検討していかなければいけないと考えております。

(藤原委員)

一意見なのですが、先程のコンセプトの話じゃないですけど、経済や企業で例えると今のブランディングとかはすごく大切ですが、どうしても地方都市の長野市で見た時には、経済だけでは語れない暮らしであるとか福祉の話がたくさん出てくるなあと思っています。他の地域を見てもブランディングで一言でバンっと言っている所もありますが、ぶっちゃけそんなに上手くいっていない事例もたくさんある。事業ベースで引っ張られてしまうのは、それはそれで計画とかを含めて、行政がやるべきことなのか議論が生まれてくると思いますので、もちろん経済も大事なのですが、暮らしの分、他の分ともっと議論を深めて良いと思いました。

(金物会長)

長期戦略 2040 の視点を入れながら、後期基本計画を作っていくことになりますので、よろしく願いいたします。

予定していた 1 と 2 の議事が終わりましたが、全体を通して何かご意見ございますでしょうか。ございましたらご発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。これで議事を終了しますので、事務局にお返しします。

(羽田補佐)

ありがとうございました。

4 のその他ということで、事務局から、「長野市未来政策アイデアコンペティション 2020」について、ご説明いたします。

—事務局説明—

宮下課長補佐より、当日配布資料により、長野市未来政策アイデアコンペティション 2020 について説明。

(羽田課長補佐)

アイデアコンペについて、ご質問があればお願いいたします。

(廣田委員)

スライドの 8 のスケジュールの中で、9 月に関係者へのヒアリング、フィールドワークを予定されているようですが、やはり県大生は県外から来られている人も沢山いらっしゃると思いますので、フィールドワークとか重要だと思いますので、市としてもコーディネートで入っていくイメージでしょうか。

(宮下課長補佐)

今後のプログラムについては、一旦チームのエントリーを締め切ったのですが、当然政策立案を進める上で、大学の先生も含めまして、事務局側もワークショップ、相談会、ヒアリングに参加していく予定であります。ただし、コロナの影響もございまして、日程の流動性もあるかとは思いますが、極力学生が提案しやすいような環境づくりを進めて参りたいと思っております。

(廣田委員)

ありがとうございます。やはり長野の現状にあった素晴らしい企画を出していただくと、この先に繋がると思っていますので、考慮していただければと思います。

(宮下課長補佐)

わかりました。ありがとうございます。

(羽田課長補佐)

他にございますでしょうか。

また、ご協力いただくことがあると思います。よろしくお願ひいたします。

事務局から事務連絡をさせていただきます。次回以降の日程について申し上げます。次第にも記載させていただいておりますが、今回は10月12日(月)15時から、会場は今回と同じくこちらの庁議室を予定しています。後日改めて、通知をお送りいたしますが、あらかじめ、ご予約くださいますようお願いいたします。

その次の審議会になりますが、次第では来年2月10日(水)の14時からと記載してございますが、会場確保の関係で変更の可能性があります。2月上旬から中旬を予定しておりますので、正式な日程が決まり次第、改めてお伝えいたします。

また、10月下旬から月に1回程度のペースで分野ごとに作業部会を開催いたします。どの分野をご担当いただくかは、基本的に事務局で割り振りをさせていただきます。ただし、分野ごとの割当人数の関係で、ご専門とは異なる分野をご担当いただく方が出てくる可能性がございます。その場合は事前にご相談の上、調整させていただければと思いますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

作業部会を含めた今年度の詳細な日程につきましては、来月お盆前までに日程表を郵送いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、閉会といたしますが、日程等について何かご質問等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

以上をもちまして、総合計画審議会を閉会といたします。ありがとうございました。